

AAFC例会資料

往年のロクハン名機「DIATONE P-610」で聴くバロックの協奏曲

私が学生時代、初めて自分用に揃えたオーディオ装置のスピーカーに用いた機種が、DIATONE P-610 というロクハン（口径6.5インチ）のフルレンジスピーカーでした。

このP-610という機種は、NHKが定めたBTS規格に適合したモニター用スピーカーで、プロ用のみならず一般にも数多く使用され、長期に亘るベストセラーでした。

1950発売以降改良が加えられ、エッジは発泡ウレタン⇒発泡ポリエチレン⇒人工皮革と変遷したが、フレームは鉄板のプレス加工品で、当初のマッチングTR取付座部がそのまま残っていたユニークさを備えていました。今回使用しますP-610Bは、加水分解で劣化脱落していた発泡ウレタン製のエッジの交換を行い、小型のバックロードホーンのボックスに装着しました。（ボックスは、いわゆるピアノブラックと呼ばれる黒色塗装の鏡面加工を施しました。）

鑑賞頂く音楽は、ヴィヴァルディ、テレマン、ヘンデル、アルビノーニの協奏曲から4曲を選びました。

音楽ソースはすべてLPレコードで、使用するカートリッジはSATIN M-117E（高出力電圧3.5mVのMC）

◆DIATONE P-610B の仕様

口径：16cm（6.5インチ）
インピーダンス：8Ω
最大入力：3W
出力音圧レベル：97dB/W
再生周波数帯域：80～13,000Hz
最低共振周波数：80Hz

※高域補正用に、DIATONE TW-503を追加



◆演奏曲

- 1、ヴィヴァルディ 2つのマンドリンと弦楽のための協奏曲 ト長調 ERA-2041（11' 24"）
【演奏】クラウディオ・シモーネ指揮／イ・ソリストィ・ヴェネティ
ポニファチオ・ピアンキ／アレッサンドロ・ピトレッリ（マンドリン）
- 2、ヘンデル ハープ協奏曲 変ロ長調ホルン協奏曲 作品4の6 ET-3051（11' 06"）
【演奏】ハインツ・レーグナー指揮／ドレスデン国立歌劇場管弦楽団
ユッタ・ツォフ（ハープ）
- 3、テレマン ブロックフルーテ、ヴァイオリンと通奏低音のための協奏曲 ト短調 MA5155（13' 35"）
【演奏】ムジカ・アンティク・ケルン
グートラン・ヘインズ（ブロックフルーテ）
- 4、アルビノーニ オーボエ協奏曲 ハ長調 作品9の5 X-5544（10' 28"）
【演奏】イ・ムジチ合奏団
ハインツ・ホリガー（オーボエ）